

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 安部 豪

TEL 072-649-2266

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	3,339	17.4	273	△33.3	383	△10.3	263	△5.6
28年6月期第2四半期	2,843	44.9	409	27.4	427	24.2	279	27.9

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 195百万円 (△26.9%) 28年6月期第2四半期 267百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	54.92	—	—	—
28年6月期第2四半期	58.18	—	—	—

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
29年6月期第2四半期	7,513	5,689	5,689	75.7	75.7	75.7
28年6月期	7,365	5,578	5,578	75.7	75.7	75.7

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 5,689百万円 28年6月期 5,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年6月期の年間配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,207	23.3	868	12.4	905	22.1	597	20.8	124.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	5,025,000 株	28年6月期	5,025,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	220,342 株	28年6月期	220,290 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	4,804,692 株	28年6月期2Q	4,804,808 株

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による雇用や所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、中国をはじめとする新興国の景気減速の懸念や、英国のEU離脱、また米国の大統領選挙等により為替が乱高下し、先行きの不透明感が強まりました。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンのマーケティング活動に注力したほか、グリーン事業の更なる拡大を図るため、生花店及び園芸雑貨店の小売事業の拡大に努めてまいり、その初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,339,093千円（前年同四半期比17.4%増）、営業利益は273,210千円（同33.3%減）、経常利益は383,875千円（同10.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は263,860千円（同5.6%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加や前連結会計年度に新たに連結子会社となったローリング・グリーンズ社の影響等により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んでまいりましたが、連結子会社のローリング・グリーンズ社の事業譲受によるシステム費用や間接部門費の増加等のM&Aの一時的な取得関連費用により大きく減益となりました。尚、ローリング・グリーンズ社はクリスマス関連売上が第3四半期会計期間に大きく計上され、利益額は改善される予定となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,441,717千円（前年同四半期比26.0%増）、営業利益は264,871千円（同36.4%減）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは25.0%（前年同四半期26.4%）、関西エリアは21.9%（同24.7%）、海外エリアは△23.6%（同0.8%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組みましたが、既存取引先との取引が減少したこと等により減収となりましたが、積極的に経費削減等に取り組んだこと等により増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は411,916千円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益は23,385千円（同33.4%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、新規店舗の認知度を高め増収となりましたが、引き続き設備投資の償却負担等が回収出来なかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は523,297千円（前年同四半期比2.6%増）、営業損失は27,793千円（前年同四半期は33,304千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,513,288千円となり、前連結会計年度末に比べて148,094千円の増加（2.0%増）となりました。

このうち流動資産は2,967,350千円となり、前連結会計年度末に比べて413,200千円の減少（12.2%減）となりました。これは主に現金及び預金が497,585千円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は4,545,937千円となり、前連結会計年度末に比べて561,294千円の増加（14.1%増）となりました。これは主に有形固定資産が207,731千円、無形固定資産が226,990千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,823,763千円となり、前連結会計年度末に比べて36,737千円の増加（2.1%増）となりました。これは主に買掛金が56,037千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,689,524千円となり、前連結会計年度末に比べて111,356千円の増加（2.0%増）となりました。これは主に、利益剰余金が179,777千円増加する一方で、為替換算調整勘定が68,322千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間の業績予想に比べて利益額は大きく減少しておりますが、連結子会社のローリング・グリーズ社の事業譲受によるシステム費用や間接部門費の増加等のM&Aの一時的な取得関連費用が大きな要因となります。尚、第3四半期連結会計期間に連結子会社のローリング・グリーズ社のクリスマス関連売上が大きく計上され、利益額は改善すること等から、平成28年8月12日に発表した連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,920	1,635,335
受取手形及び売掛金	590,531	835,575
有価証券	260,577	110,194
商品及び製品	283,588	288,092
原材料及び貯蔵品	758	841
その他	118,699	117,895
貸倒引当金	△6,524	△20,584
流動資産合計	3,380,550	2,967,350
固定資産		
有形固定資産		
土地	946,274	946,274
その他	1,643,201	1,899,810
減価償却累計額	△1,008,232	△1,057,109
その他（純額）	634,969	842,700
有形固定資産合計	1,581,243	1,788,975
無形固定資産		
のれん	413,883	641,357
その他	24,019	23,535
無形固定資産合計	437,903	664,893
投資その他の資産		
投資有価証券	657,854	567,577
繰延税金資産	400,055	627,355
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△101,713	△105,431
投資不動産（純額）	405,022	401,303
その他	507,282	500,550
貸倒引当金	△4,717	△4,717
投資その他の資産合計	1,965,496	2,092,069
固定資産合計	3,984,643	4,545,937
資産合計	7,365,193	7,513,288

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	194,715	250,753
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	199,992	199,992
未払法人税等	126,237	177,590
賞与引当金	—	3,833
その他	280,176	301,193
流動負債合計	1,001,121	1,133,363
固定負債		
長期借入金	358,343	258,347
退職給付に係る負債	168,485	176,276
長期未払金	210,571	207,309
その他	48,504	48,466
固定負債合計	785,903	690,399
負債合計	1,787,025	1,823,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	5,541,276	5,721,054
自己株式	△153,678	△153,759
株主資本合計	5,682,857	5,862,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△526	△543
為替換算調整勘定	△104,162	△172,484
その他の包括利益累計額合計	△104,688	△173,028
純資産合計	5,578,168	5,689,524
負債純資産合計	7,365,193	7,513,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,843,605	3,339,093
売上原価	1,131,561	1,323,386
売上総利益	1,712,043	2,015,707
販売費及び一般管理費	1,302,197	1,742,496
営業利益	409,846	273,210
営業外収益		
受取利息	6,838	4,075
受取配当金	189	226
投資不動産賃貸料	14,550	17,165
為替差益	—	95,144
その他	8,272	3,865
営業外収益合計	29,851	120,478
営業外費用		
支払利息	—	238
不動産賃貸原価	9,953	7,721
為替差損	1,217	—
その他	651	1,852
営業外費用合計	11,822	9,813
経常利益	427,875	383,875
税金等調整前四半期純利益	427,875	383,875
法人税等	148,343	120,015
四半期純利益	279,531	263,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,531	263,860

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	279,531	263,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△16
為替換算調整勘定	△12,171	△68,322
その他の包括利益合計	△12,200	△68,339
四半期包括利益	267,331	195,520
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,331	195,520
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年7月1日 至平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427,875	383,875
減価償却費	44,137	82,358
のれん償却額	25,404	40,342
貸倒引当金の増減額（△は減少）	382	14,059
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6,039	7,790
受取利息及び受取配当金	△7,028	△4,302
支払利息	-	238
為替差損益（△は益）	-	△96,323
売上債権の増減額（△は増加）	△96,811	△225,487
たな卸資産の増減額（△は増加）	△38,596	△4,145
仕入債務の増減額（△は減少）	4,389	73,238
未払消費税等の増減額（△は減少）	4,244	△17,990
その他	△2,420	11,473
小計	367,617	265,128
利息及び配当金の受取額	9,516	8,306
利息の支払額	-	△238
法人税等の支払額	△95,032	△119,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,101	153,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	-	300,000
投資有価証券の取得による支出	△58	△60,799
有形固定資産の取得による支出	△230,351	△187,576
無形固定資産の取得による支出	△1,350	△5,786
投資不動産の賃貸に係る支出	△7,027	△4,900
投資不動産の賃貸による収入	15,518	17,349
定期預金の預入による支出	△150,000	△100,002
定期預金の払戻による収入	200,000	150,000
保険積立金の積立による支出	△3,866	△3,866
事業譲受による支出	-	△568,036
その他	14,770	949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,365	△462,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△99,996
リース債務の返済による支出	△860	△373
自己株式の取得による支出	-	△81
配当金の支払額	△71,823	△84,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,684	△184,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,968	45,791
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	44,083	△447,587
現金及び現金同等物の期首残高	890,996	1,872,006
現金及び現金同等物の四半期末残高	935,079	1,424,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	886,035	729,397	322,065	1,937,498	396,423	509,683	2,843,605	—	2,843,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	411	—	411	43,284	511	44,207	△44,207	—
計	886,035	729,809	322,065	1,937,909	439,707	510,195	2,887,813	△44,207	2,843,605
セグメント利益 (△は損失)	233,526	180,167	2,530	416,225	17,533	△33,304	400,454	9,391	409,846

(注) 1 セグメント利益の調整額9,391千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失又はのれん等はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	977,052	806,138	658,322	2,441,513	374,541	523,039	3,339,093	-	3,339,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	204	-	204	37,375	258	37,838	△37,838	-
計	977,052	806,342	658,322	2,441,717	411,916	523,297	3,376,931	△37,838	3,339,093
セグメント利益 (△は損失)	243,811	176,629	△155,568	264,871	23,385	△27,793	260,463	12,747	273,210

(注) 1 セグメント利益の調整額12,747千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるローリング・グリーンズ・インクが、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーから全事業を譲り受けております。

その結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、571,902千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーからの事業譲受により、のれんが262,287千円増加しております。